



受付第 0 1 A 3 1 2 9 号

受付日：平成 1 4 年 2 月 2 7 日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成 1 4 年 5 月 3 1 日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野中幸
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 2 番 2 0 号

試験名称	木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋 7 1 7 番 1 号
試験体	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：フリーダムコーナー F-C 6 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：図-3 参照 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 柱側木ねじ：2#角ビット鍋スクリュー 5-φ6.0×45mm 横架材側木ねじ：2#角ビット鍋スクリュー 2-φ6.0×90mm 材質：SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり，下記の化学成分を満足する。 C(0.18~0.23%)，Si(0.10%以下)，Mn(0.70~1.00%) P(0.030%以下)，S(0.035%以下)，Al(0.02%以上) 表面処理：ダクロタイズド処理 3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；14.8~19.7%，密度；0.46~0.51g/cm ³ 横架材：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；14.9~16.7%，密度；0.45~0.50g/cm ³ 4. 試験体数 7 体（うち 1 体は予備試験体） 参照：図-1~図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の 2 章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の 2. 「平成 1 2 年告示第 1 4 6 0 号に基づく仕口及び継手の試験法，評価法」に従って行った。その詳細を表-1 に示す。
試験結果	短期基準接合引張耐力(P _{0t})：8.8kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4 及び図-5 破壊状況：写真-1~写真-6
備考	当該試験結果は，平成 1 2 年建設省告示第 1 4 6 0 号表三 (ほ) に定める羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクリューくぎ（必要耐力 8.5kN）に該当する。
試験期間	平成 1 4 年 3 月 1 2 日 ~ 1 3 日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 川上 修 試験実施者 室 星 啓 和 ， 守 屋 嘉 晃
試験場所	中央試験所